

市民フォーラム開催結果

1 開催目的

公共施設の老朽化が全国的な問題となる中、少子高齢化・人口減少社会の到来により、維持更新費用の確保が難しくなるとともに、施設に求められる機能が変化してきており、次世代に継承できる公共施設、持続可能な市民サービスの提供を目指して、公共施設の在り方を今一度考えることが必要となっています。このため、公共施設の老朽化問題に関する全国の実例や盛岡市のこれまでの取組を振り返りながら、市民の皆さんと共に、盛岡市の今後の公共施設の在り方を考えることを目的として、次のとおり市民フォーラムを開催しました。

2 日時

平成 27 年 5 月 22 日（金）

午後 1 時 30 分から午後 4 時まで

3 場所

盛岡市民文化ホール小ホール

4 内容

(1) 第一部 公共施設の現状と課題

ア 基調講演

「今後の公共施設等の在り方 ―持続的なサービス水準の維持―」

首都大学東京都市環境学部客員教授 山本 康友 氏

イ 報告 1

「秦野市の公共施設更新問題への挑戦」 秦野市政策部公共施設再配置

推進課長 地方自治体公民連携研究財団客員研究員 志村 高史 氏

ウ 報告 2

盛岡市のこれまでの取り組み

盛岡市財政部資産管理活用事務局長 齊藤 俊一

(2) 第二部 パネルディスカッション

「これからの公共施設の在り方とは？」

コーディネーター 首都大学東京都市環境学部客員教授 山本 康友 氏

パネリスト 岩手県立大学総合政策学部准教授 栗田 但馬 氏

パネリスト 盛岡市公共施設等マネジメント推進会議委員 八木橋 美紀 氏

パネリスト 盛岡市まちづくり市民討議会参加者 井上 昂也 氏

パネリスト 秦野市政策部公共施設再配置推進課長 志村 高史 氏

5 開催結果

当日は、210 人の方に御参加いただきました。参加者アンケートでは、「市が取り組んでいる公共施設保有最適化・長寿命化長期計画の取組は必要だと思いますか。」の問いに対し、93.8 パーセントの方に「必要」又は「どちらかと言うと必要」と回答いただきました。

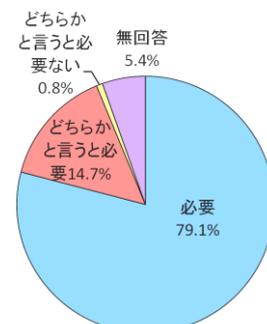


図 アンケート結果